

# コスモス 3月号

第72巻 第3号

◆宮柊二カレンダー(60) 三月の歌

をさなごよいまし汝が父は才ざえうすくいまし負おぶへば  
竹群たかむらに来くも  
歌集『日本挽歌』

春の竹群に来て背なの子に「汝」とやさしく呼びかける父。初出は昭和21年2月の「歌学」である。柊二は『日本挽歌』上梓の際、「草むら」と「鉄道草」の間に制作時期の異なるこの歌を加えた。「草生、布由樹、夏実とわれに三人の小孩あり。それぞれの尚いとけなかりしころに吾のうたひ聞かせる。屋出でて五分程歩を運べば河ありき、架せる粗橋をわたれば即ち竹群ありき。」と詞書にある。子供への慈愛と自分への厳しさがバランスよく一首に収まっている。  
(朝比奈美子)